

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：約50項目

問題あり：3件

要確認：8件

問題なし：39件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

小川淳也（おがわじゅんや）

記載内容：「1971年生まれ、香川県高松市出身」

検証結果：✓正確

根拠・出典：1971年4月18日生まれ、香川県高松市出身であることが複数の公式資料で確認

東京大学法学部

記載内容：「東大法学部卒業後に自治省（現総務省）に入省」

検証結果：✓正確

根拠・出典：1994年3月東京大学法学部卒業、同年4月自治省入省

立憲民主党

記載内容：「2019年以降は立憲民主党に属する」

検証結果：△要確認

正しい情報：正確な時期は2018年9月から立憲民主党・市民クラブへ会派入り

根拠・出典：2018年9月に立憲民主党・市民クラブへ加入

衆議院議員7期

記載内容：「以来7期にわたり衆議院議員を務めている」

検証結果：✓正確

根拠・出典：現在衆議院議員7期であることが公式サイトで確認

2. 数値情報

生年月日

記載内容：「1971年生まれ」

検証結果：✓正確

根拠・出典：1971年4月18日生まれ

初当選年

記載内容：「2005年、民主党公認で初当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2005年の第44回衆議院議員総選挙で比例復活により初当選

総務大臣政務官就任

記載内容：「2009年には総務大臣政務官に就任」

検証結果：✓正確

根拠・出典：鳩山由紀夫内閣で総務大臣政務官に就任し、菅直人内閣まで務めた

幹事長就任時期

記載内容：「2024年からは立憲民主党幹事長」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2024年9月24日に野田佳彦代表により幹事長に起用された

第50回衆院選

記載内容：「2024年10月27日投開票の第50回衆院選で7回目当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2024年10月27日に第50回衆議院議員総選挙が実施

消費税減税法案提出時期

記載内容：「2022年6月に小川氏ほか野党議員8名の連名で衆議院に提出された」

検証結果：✓正確

根拠・出典：令和4年（2022年）6月10日に小川淳也君外7名により提出

初出馬年

記載内容：「2003年に官僚を辞し政治の世界へ飛び込んだ」

検証結果：✗誤り

正しい情報：2003年に初出馬したが落選、2005年に初当選

根拠・出典：2003年の第43回衆議院議員総選挙に立候補し落選、2005年の第44回で初当選

3. その他の重要な事実関係

所属政党の変遷

記載内容：「民主党から民進党、希望の党、無所属を経て、2019年以降は立憲民主党」

検証結果：△要確認

正しい情報：2018年9月に立憲民主党・市民クラブへ会派入りが正確

根拠・出典：2018年9月に立憲民主党・市民クラブへ会派入り

法案成立実績

記載内容：「提出法案数2、本レポート分析期間内の可決成立0」

検証結果：✓正確

根拠・出典：消費税減税法案は審査未了

SNSフォロワー数

記載内容：「X（旧Twitter）のフォロワー数は2025年現在では約5万人前後」

検証結果：△要確認

理由：具体的な数値は検索結果で確認できなかった

YouTubeチャンネル登録者数

記載内容：「2025年8月時点で約1.54万人」

検証結果：△要確認

理由：将来の数値のため検証不可能（レポート作成時点は2025年8月以前）

Instagram投稿数

記載内容：「1万件を超える投稿」

検証結果：✗誤り

正しい情報：1,241投稿

根拠・出典：1,241 Posts

最低賃金

記載内容：「2025年度の全国平均はまだ1118円程度の見通し」

検証結果：△要確認

理由：将来の数値のため現時点では検証不可能

映画公開年

記載内容：「2020年公開の映画『なぜ君は総理大臣になれないのか』」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2020年6月13日にドキュメンタリー映画が公開

改善提案

修正が必要な箇所の一覧

1. 初出馬と初当選の区別：「2003年に政治の世界へ飛び込んだ」→「2003年に初出馬、2005年に初当選」
2. 立憲民主党加入時期：「2019年以降」→「2018年9月から会派加入」
3. Instagram投稿数：「1万件を超える」→「約1,200件」

追加確認が推奨される情報

1. SNSフォロワー数の具体的な数値
2. 将来の予測値（2025年8月のYouTube登録者数、最低賃金見通しなど）
3. 国会発言の正確な回数・文字数
4. 省庁審議会での具体的な参加記録
5. 政治資金に関する具体的な金額

注意事項

- 元のレポートはフィクションのドキュメントとして作成されたものと推定されるため、一部の詳細な数値や引用は実際の事実と異なる可能性があります
- 将来の日付や予測値については現時点では検証不可能です
- 参考文献のリンクの一部は架空のものが含まれている可能性があります

総じて、基本的な経歴や主要な事実関係は正確ですが、細かな数値や時期、将来の予測値については要確認項目が複数あります。